

## 児童が火の恐ろしさを思い思いの図画で表現

応募総数 608 点の中から選ばれた防火ポスターコンクール入賞者 36 人決まる



- ① 高山稜大 (大和 1)
- ② 高口晃喜 (皿垣 2)
- ③ 松下昊生 (矢ヶ部 3)
- ④ 石橋和歩 (藤吉 4)
- ⑤ 千倉大史 (垂見 5)
- ⑥ 藤戸愛優 (垂見 6)

市内の小学生を対象に募集した第47回防火ポスターコンクールの入賞者が決まりました。今年は608点の応募があり、36人が入賞。入賞者は次のとおりです（敬称略、かっこ内は学校名）。入賞作品は、市公式サイトで全て見ることができます。

【1年生】▷金賞＝高山稜大（大和）▷銀賞＝浦一颯（皿垣）、古賀渉聖（蒲池）▷銅賞＝高橋昊太郎（垂見）、松藤璃依奈（同）、目野大雅（ニッ河）【2年生】▷金賞＝高口晃喜（皿垣）▷銀賞＝古賀奈那里（城内）、本園真菜（蒲池）▷銅賞＝井上瑞喜（矢ヶ部）、井上禅月（同）、橋本麻里愛（同）【3年生】▷金賞＝松下昊生（矢ヶ部）▷銀賞＝奥晃太（六合）、松藤美月（中島）▷銅賞＝北原篤史（昭代第一）、伊豫宗佑（柳河）、百武着真（藤吉）【4年生】▷金賞＝石橋和歩（藤吉）▷銀賞＝古賀博翔（垂見）、西田麗乃（柳河）▷銅賞＝古賀蓮香（矢留）、吉山結花（豊原）、吉村将希（矢ヶ部）【5年生】▷金賞＝千倉大史（垂見）▷銀賞＝田尻涼夏（有明）、大淵輝仁（蒲池）▷銅賞＝上国利朱莉（豊原）、福永篤人（藤吉）、古賀渚彩（蒲池）【6年生】▷金賞＝藤戸愛優（垂見）▷銀賞＝太田結彩（城内）、平川友彩（皿垣）▷銅賞＝河島仁（皿垣）、野口旺志郎（柳河）、横山元（藤吉）【問】市消防本部予防課（☎74・0121）

## 合併浄化槽で水の都にふさわしい水質に

くみ取りトイレや単独浄化槽からの転換を積極的に支援します



河川や掘割の水質悪化は、家庭から出る生活排水が主な原因です。くみ取りや単独浄化槽は、トイレの排水しか処理せず、台所や風呂場などからの排水は処理

しません。そのため市は補助金（左下表参照）を出すなどして、家庭から出る全ての排水を処理できる合併浄化槽への転換を積極的に支援しています。転換することで、河川などの水質に与える影響を8分の1まで減らすことができます。水郷柳川にふさわしい水質に少しでも近づけるため、ぜひ合併浄化槽への転換をお願いします。

### 浄化槽設置後は法定検査をお忘れなく

合併浄化槽を設置しても、適切に管理しないと、故障して汚れた水がそのまま流れて悪臭が発生するなど、生活環境悪化の原因となります。法律で浄化槽管理者（設置者）には、保守点検と清掃、法定検査の3つの義務を定めています。必ず専門業者と維持管理契約を結びましょう。

【問】市生活環境課浄化槽推進係（☎77・8483）

### ■補助金額一覧表（太字は今年度から増額）

区分	補助限度額	
5人槽（延べ床面積130㎡以下）	新築	33万2000円
	改築（設備撤去あり）	75万2000円
7人槽（延べ床面積130㎡超）	新築	41万4000円
	改築（設備撤去あり）	83万4000円
10人槽（二世帯住宅や共同住宅の改築）	新築	54万8000円
	改築（設備撤去あり）	96万8000円

## 国際交流や国内の文化・観光の交流に期待

書家や篆刻家として活躍する師村妙石さんが32人目の観光大使に就任



市は柳川の良さを広くPRしてもらおうと、柳川に縁があり、各分野で活躍している人を柳川観光大使として委嘱しています。今回は、32人目の観光大使に就任した師村妙石さんを紹介しします。

宮崎県出身で北九州在住の師村さんは、県文化賞や外務大臣表彰、文部科学大臣表彰を受けるなど書家や篆刻家として活躍しています。また、日中国交正常化40周年記念事業として、平成24年に中国で開催された「明・朱舜水書信展」で重要な役割を担いました。このイベントには市から朱舜水に関係のある史料65点を展示。朱舜水が明から日本へ持ち込み、柳河藩学の基礎を築いた儒学者安東省庵に託した伝習館高校所蔵の孔子像も展示されました。さらに、今年3月には市民文化会館で開催された「北原白秋と若山牧水のころ 書・篆刻芸術展」では、白秋にちなむ作品を披露するなど、柳川を広くPRしています。

10月5日に北原白秋生家であった就任式では、金子市長から師村さんへ委嘱状が手渡されました。受け



32人目の柳川観光大使に就任した師村妙石さん

取った師村さんは、「美しい水の都であること、そして北原白秋の存在を知ってもらうことが大切」と観光大使としての意気込みを語りました。市公式サイトでは、観光大使32人全員を紹介しています。

【問】市観光課観光推進係（☎77・8563）

## 市民向けの「やさしい日本語」講座開催

観光大使の吉開さんが外国人にも分かりやすい日本語を伝授します



市民に簡単な日本語で訪れる外国人観光客をおもてなししてもらおうと、市は平成28年から「やさしい日本語ツーリズム」事業に取り組んでいます。この事業の一環として、市民を対象にした「やさしい日本語講座」を開催します。

近年、増加傾向にある市を訪れる外国人観光客。平成29年には過去最高の24万5000人も外国人観光客が市を訪れました。これは同年の観光客全体の17%



市職員を前にやさしい日本語のポイントを解説する吉開さん（令和3年10月）

以上にあたります。コロナ禍で一時期落ち込んでいましたが、4月時点で九州への外国人入国者数はコロナ前の約7割まで回復しています。

講座の講師は、市出身の観光大使で一般社団法人やさしい日本語普及連絡会代表理事の吉開章さん。吉開さんは、外国人にも分かりやすい「やさしい日本語」が話せる人に見える化するバッジ作成など、ツーリズム事業のスタートから中心的な役割を担ってきました。また、「やさしい日本語ツーリズム研究会」を立ち上げ、全国でやさしい日本語を普及させています。今回は「3文クッキング」と題し、複雑な内容をいかに簡単な日本語3文で伝えるかを考えます。大人はもちろん小学生でも楽しめる内容です。ぜひ家族でお越しください。

- 日時 12月5日（火）午後6時～
- 会場 水の郷2階視聴覚室
- 内容・定員 吉開さんによる講演やグループごとのワークショップ、先着100人
- 申込方法 市観光課へ電話するか右のQRから申し込み

【問】同課おもてなし推進係（☎77・8564）

